

あったら便利★

引越し手続き等

チェックリスト

- 決まったらすぐに！
- 市役所建設課に連絡
☎54-2111(内線402)
- 新居の下調べ
- 引越業者に電話（業者を頼む方）
- 粗大ゴミ処分の手配
- 公立小・中学校の転校の手続き
- 10日前まで**
- 郵便局に転居届の手続き
- 新聞・牛乳など
- 新居の配置図作成
- NHKへ転居届
- 荷造り開始
- 1週間前まで**
- 電話の移設の手続き
- 電力会社の手続き
- ガス会社の手続き
- 水道局の手続き
- 市区町村役所へ転出の手続き・仮設住宅退去届
- 銀行の手続き
- お引越し前日**
- 冷蔵庫、洗濯機の水切り
- 電化製品の配線取り外し
- 貴重品は、手持ちのバッグにまとめておく

○ 必ず持っていくもの
家電6点セット(日赤からの奇贈品)
洗濯機・冷蔵庫・テレビ
炊飯器・電子レンジ・電気ポット
※処理する場合は、自己負担です。

× 持って行ってはいけないもの
カーテン・アコーディオンカーテン・エアコン・ガスコンロ・ファンヒーター・消火器・洗濯置き場の排水口に接続するし字管など最初から備わっていたもの
※平成26年9月現在(市役所ホームページに記載)

引越し費用の補助があります！
補助金額：10万円
(定額で、1世帯につき1回限り)
対象：東日本大震災により、居住する住宅が半壊以上の被害を受けて、居住困難となり、陸前高田市内に新たに確保した住宅へ移転する被災世帯等。
※詳細については、市役所の被災者支援室にご確認下さい。
☎54-2111(内線342)

明日への一歩

市内を見渡すと、災害公営住宅や自力再建の家々の建設が進み、少しずつ復興への歩みが見えるようになってきました。

一方、工事が進むにつれてみなさんを取り巻く環境も変化し、それに伴いいろいろな不安を感じることもあります。少しでもみなさんの気持ちを和らげることが出来たらと思い、『明日への一歩』を作りました。これから引越しを予定しているAさん。そして、Aさんの周りの人々。みなさん自身、自分に重なるところがあるかもしれません。手に取ってご覧いただければと思います。

陸前高田市
仮設住宅連絡会
〒029-2205
陸前高田市高田町字嶋石 5-1
第一中学校仮設住宅委員会内
(0)192(47)4385
rikutakakasetu@gmail.com

あさがお仮設の仲間たち

もろずく引越す Aさん

二ヶ月前に引越した Bさん

あさがお仮設の住民たち

もう少しで引越しだけ…
知り合いがいらないから、どうしよう…

大丈夫よ。
私も不安だったけど、とりあえずご近所に挨拶に行ってきたら。わからないことがあれば、教えてもらえるから。

そうねえ。それじゃあ、まず挨拶(移転先)に行ってみようかな…

移転先でご近所さんへ挨拶に行くよ、班編成や区の決まりごと等を聞くことが出来る、過ごしやすくなるかもしれないですね。

そうそう。行ったほうがいいよ。
ところで、周り(仮設)の人達には挨拶はしたの？

いやあ…。
何だか言いづらくて… まだなのよ…

そうかあ… でも、挨拶はしっかりしておいた方がいいんじゃない？



— あさがお仮設住宅で…



さっぱり、この頃Aさん見かけないね。どうしたんだろう？



何だか、Aさん引越すって聞いたよ。本当かな？



はあ〜。さびしくなるけど、仕方ないねえ。

移転する人の中には、震災後から仮設で苦業を共にしたお隣さんたちが残る中、自分だけが先に仮設を出ていくことに、申し訳なさを感じて、言いつけずに出ていくと、周りの人たちは余計な心配をしたり、寂しい思いをするのではないのでしょうか。いつかはみんな、仮設を出ます。申し訳なさを感じている人も、仮設を出て行くことに気兼ねなく挨拶が出来るといいですね。

— 数日後…



今度、OOに行くことが決まったのよ。今まで、ありがとうねえ。



おお〜そうかあ。おめでと〜！よかった、よかった。いつでも遊びにこいよ〜



よかったねえ、落ち着いたら新しい家に呼んでね。今まで、お世話になって…ほんとにありがとう。



私たちも、その内引越すから。元気でね。見かけたら声かけてね！

あ

い

い

つ

な

ら

— あさがお仮設の井戸端会議で…



Aさんが行く前に、みんなが集まってお茶っこしたいねえ。



そうだなあ。みんな楽しんでAさんを送り出そうかあ。

震災後、仮設住宅に入ってから、いろいろなことをみなさんで乗り越えてこられたと思います。これからもお互いに関わりあう、いつでもどこでも集まるこゝが出来れば、みんな元気でいられるのではないのでしょうか。住んでいるところにとらわれず、今まで通りいつも通りのお付き合いを続けていきたいですね！



— 時間が経ち、半年後とあるスーパーで…



お〜い！Aさん。久しぶり。引越してから、一度仮設に遊びに来てくれた時以来ね。元気だった？



あら〜、どうも。お陰様で元気だったよ。



新しい所行って、大変じゃない？



慣れない土地に行って、最初大変だったのよ。でも、引越してすぐに、ご近所さんに挨拶したら、友達もできてね。いろいろと助けてもらって何とかやってるの。



そうなの、よかったねえ。実は、私も引越す予定なのよ。今度お邪魔させてね。



ぜひ来てね。私も、今度仮設のお茶っこに顔を出すから、またいろいろ話しましょうね。

まちで知人に出会ったら、気軽に話したいですね。

みんなそれぞれ、必ずいつの日か仮設を出て、それぞれの場所へ引越します。

今まで支え合ってきた仲間の門出を祝福し、いつの日か笑って思い出し話が出来るといいですね！

明日への一歩につなげることを願って…

住民が主体となる



市内のある地域での話。

『自力再建で引越してくる人たちができるだけ早く地域に馴染めるように』ということで受入れ先の住民が動き、再建者を交えた交流会を開催しました。

当初は歓迎会ということで、無料で招待することも考えましたが『かえって気を遣うのでは…』と会費制で実施。交流会ではお互いの自己紹介や情報交換などが行われ、和気あいあいとした雰囲気でした。

交流会には部落会長や区長も参加し、『いろいろ不安もあると思いますが、何か分からないことや困ることがあれば気軽に声をかけて下さい。』と挨拶があり、再建者の表情は少しほっとした様子でした。

住民の『思いやり』が形となり、再建者の方々の不安な気持ちを少しでも和らげることが出来たのではないのでしょうか。

また、普段は小さな子どもの声がほとんど聞けない地域でしたが、休日には子どもが元気に走り回る姿が見られるようになり、地域全体が活気づいたそうです。